

山岡光広・岡田重美・小西喜代次議員が一般質問

発言順

山岡光広議員



◆岩永市政4年間の総括と市民要求◆学校図書館整備5カ年計画をひまえた学校図書充実◆コロナ特例による介護報酬の引き上げ◆コロナ禍のもとで少人数学級実現を◆第二期滋賀県国保運営方針

**問** 国の学校図書館整備5カ年計画に基づき、学校図書の充実を。ネックとなっている図書費算出システムを見直し、不要となった本の除籍を行い活用できる図書に、百科事典は別枠予算で。図書室のネット環境整備を、学校司書の計画的増員を。

**教育部長** 図書費算出システムを見直し除籍を行う。百科事典は別枠予算で対応する。年度内にタブレットを配備する。

**問** コロナ禍のもとで、全小中学校で少人数学級の実現を。現況の一学級の人数は、実現するうえで課題は何か。

**教育部長** 少人数学級は基本的に望まないと考えているが、一定の人数は必要。

**教育部長** 市内小中264学級のうち31人から35人は小42・中36、36人から40人は小2学級。課題は、教室の確保、備品等の経費。市独自で進める場合は教職員の人材と人件費が大きな課題。

**問** コロナ特例で介護報酬が引き上げられているが、本来国が責任を負うもの。利用者負担にすべきではない。甲賀市が利用者負担を補てんできないか。

**健康福祉部長** 通所系で6割、短期入所で4割が導入。利用者負担を伴わない事業継続支援を国に要望していきたい。

**市長** 国が責任を負うべき課題。重点要望で厚労省に要望書を提出する。

岡田重美議員



◆コロナ禍のもと障害者就労支援事業所への支援◆高齢者の尊厳と安心の介護サービスとするために第8期介護保険事業計画◆中学校卒業までの医療費完全無料化◆旧東海道のカラー舗装

**問** 6月議会で支援を求めていたコロナで減収のあった障害者就労支援施設への支援について、今議会の補正予算で補助事業が提案された。この補助事業によりコロナで影響を受けた事業所全体が保障されるのか。

**健康福祉部長** 今回の補助事業に限らず、今後の動向も見極め、事業所の活動や利用者の賃金確保に向け、できる限りの支援をしていく。

**問** 第8期介護保険事業計画に、待機者数に見合った特別養護老人ホーム増設計画、介護保険料の引き下げ、抜本的な介護人材確保策などを盛り込むべき。

**健康福祉部長** 特別養護老人ホームについては、真に必要な整備数を算定し計画に反映させる。基金の有効な活用を考慮し、介護保険料の算定を行う。

**問** コロナ禍における子育て世帯応援のためにも、中学卒業までの医療費完全無料化を実施すべき。

**市長** 引き続き検討課題とする。まずは現行制度を維持する。

**問** 土山旧東海道のカラー舗装は年々劣化がみられる。修繕計画が必要では。

**建設部長** カラー舗装は高額であり補修が進んでいないが、景観や安全面から対策の検討が必要と認識している。

小西喜代次議員



◆新型コロナウイルス感染拡大の抜本的対策◆新型コロナ感染拡大での継続的な経済支援◆信楽高原鉄道の無料乗車制度の適用◆信楽の土砂崩れへの対応と課題◆豪雨災害への対策

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為にPCR検査の市独自の体制が必要では。

**市長** 簡易で精度の高い検査キットの開発、普及が可能になれば、市独自の体制も可能になる。

**問** 市立の医療機関、学校等集団感染のリスクが高い施設の職員への定期的なPCR検査の実施、又、同様の民間施設にも定期検査の財政的援助を行ってはどうか。

**健康福祉部長** 一件あたり3万～4万円の費用負担などからハードルは高い。

**問** コロナ禍での小規模・中小事業者に継続的な財政支援が必要ではないか。

**産業経済部長** 国、県の制度を補完し、既存事業の期間延長や新たな支援策に向けて、期間延長や新たな支援策の情報収集、検討を進めている。

**問** コミバスの無料乗車券制度を信楽高原鉄道に適用してはどうか。

**市長** 75歳以上に適用すると350万円の負担。他の福祉政策も考え検討する。



新型コロナウイルス感染症拡大を抑えるためには、大規模で網羅的なPCR検査が必要、と日本共産党甲賀市議員団は8月3日、滋賀県知事に対してPCR検査の抜本的な拡充と医療体制強化について緊急申し入れを行いました。

PCR検査の抜本的拡大を

日本共産党甲賀市議員団が県に緊急申し入れ